



子どもは本で伸びる

500冊の絵本が並ぶ絵本コーナーを設置しました。乳幼児向け絵本のほかに、子育て中のお父さんお母さんに読んでほしい本も購入しました。

お子さんをひざに乗せ、絵本を開く親子の姿が多く見られるようになりました。

コーナーができたことをきっかけに、絵本の貸出が4倍に増えています。

◆ふれあい会館に 絵本コーナー設置



▲本を探す (図書館)

団体貸出やレファレンス(読書相談)のほか、司書や保育士を対象にした研修会を開き、町全体の子どもの読書活動を図書館が支援しています。



▲新しい絵本うれしいね (ふれあい会館)

子どもたちが集う所には必ず本があるように、読書環境の整備に努めています。

この時期に大切なわらべうたや読み聞かせが、育児の中に定着するように、職員が指導やサポートをしています。

また、購入した絵本で絵本セットも作りました。

ほかの機関で育児学級などが行われるときに職員が持参して、絵本を紹介しています。

◆保育所で

幼児教育課に司書を配置して、就学前の乳幼児と家庭への読書推進を図っています。



▲保育室の絵本コーナーで (庄内保育所)

各保育所では、図書担当保育士が中心になって読書推進に取り組んでいます。

各保育所が絵本コーナーの活用の仕方について見直しをしました。保育室や遊戯室に新しくコーナーを作ったり、書架を購入したりして、子どもたちが絵本に親しみやすい空間が生まれています。

絵本を衛生的に保つブックカバーフィルムや、ジャンル別に分類するシールなども装備しました。

絵本は選書が何より大切です。図書担当保育士と司書が協議を重ね、実際に絵本を手に取りながら選書し、保育所全体で約1900冊購入しました。

保育士は、毎日の読み聞かせのほかに、季節や行事に合わせてさまざまな場面で絵本を選び、活用しています。

年長組の読み聞かせでは、長お話の絵本やストーリーテリングなど、幼年童話へのステップアップを視野に入れたプログラムを組んでいます。本の楽しさを教えるとともに、しっかりと聞くことのできる子どもを育てむこともねらいます。

えほんだよりの発行や、親子



▲いっしょに選ぶ親子貸し出し (大山保育所)



▲先生の読み聞かせに夢中 (逢坂保育所)

でいっしょに絵本を選ぶ親子貸出、読書講演会など、各保育所がさまざまな取り組みをしています。

家庭での読み聞かせについて、アンケート調査を実施しました。統計結果や寄せられるご意見にも、保護者の読み聞かせへの意識の高まりや実践の広がりが見られます。

定期的に図書担当者会を開き、協議や視察、研修などで、保育士のスキルアップを図っています。

一日の保育の中で絵本を充分活用し、家庭と連携を取りながら、子どもたちの読書の基礎づくりに取り組んでいます。